

## 地球温暖化対策計画書

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

## (1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名)	日本空港ビルデング株式会社 取締役不動産管理部長
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都大田区羽田空港3-3-2

## (2) 事業所の概要

事業所の名称		日本空港ビルデング株式会社		
事業所の所在地		東京都大田区羽田空港3-3-2		
業種等	事業の業種	分類番号	L69 L:不動産業 ▼ 不動産賃貸業・管理業 ▼	
		産業分類名	不動産賃貸業・管理業	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設	
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設	
		<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設		
		<input checked="" type="radio"/> その他 (航空旅客ターミナルビル)		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理</li> <li>・航空運送事業者及び空港構内業者に対する事務所、店舗、作業場等の賃貸</li> <li>・旅客ターミナルビルにおける物品販売業務</li> <li>・旅客ターミナルビル利用者に対する案内業務、駐車場、旅行損害保険代理業、ホテル斡旋等のサービス提供</li> </ul>		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1)	テナント事業者等の名称	
		(2)	テナント事業者等の名称	
		(3)	テナント事業者等の名称	
敷地面積		153,712	m <sup>2</sup>	
建物の延べ面積		465,333	m <sup>2</sup>	

## (3) 担当部署

計画の担当部署	名称	日本空港ビルデング株式会社 不動産管理部 施設課	
	連絡先	電話番号	03-5757-8225
		ファクシミリ番号	03-5757-8035
		電子メールアドレス	m-kato@jat-co.com
公表の担当部署	名称	日本空港ビルデング株式会社 広報室	
	連絡先	電話番号	03-5757-8030
		ファクシミリ番号	03-5757-8099
		電子メールアドレス	kouhou@jat-co.com

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表期間	平成18年1月1日 ~ 平成22年3月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: <a href="http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/">http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/</a>
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17	年度	~	21	年度
----	----	---	----	----

3 温室効果ガスの総基準排出量(工場・事業場の設備等に係るものと自動車等に係るものとの合計)

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
総基準排出量	78,407						78,407

4 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針等

昨今、景気停滞の中でも航空業界、中でも羽田空港における航空旅客数は右肩上がりの上昇を続け、昨年度(平成16年度)は5年前(平成11年度)に比して、約15%UP、800万人増という状況であり、今後も旅客数並びに利用者数は増加することが予想されております。  
 このような状況の中、空港ターミナルという公共性をもった場所がら、増加する航空旅客等に伴うエネルギーの増加に対応し、そのサービスレベルを維持しつつも、エネルギーの利用効率を高めることにより、地球温暖化対策を図ることとしたい。

重点対策

- ・竣工後、12年が経過する第1旅客ターミナルビルについて、長期修繕計画の下、設備更新を併せ、省エネ機器へのリプレースを積極的に推進する。(照明設備、中水処理設備)
- ・レストランからの厨芥について、肥料等への再資源化を図る。
- ・ターミナル内テナントとの連携を強化し、運用面での省エネ対策を具体的に推進する。

(計画期間の最終年度における温室効果ガスの総排出量の見込み) 単位:t(二酸化炭素換算)

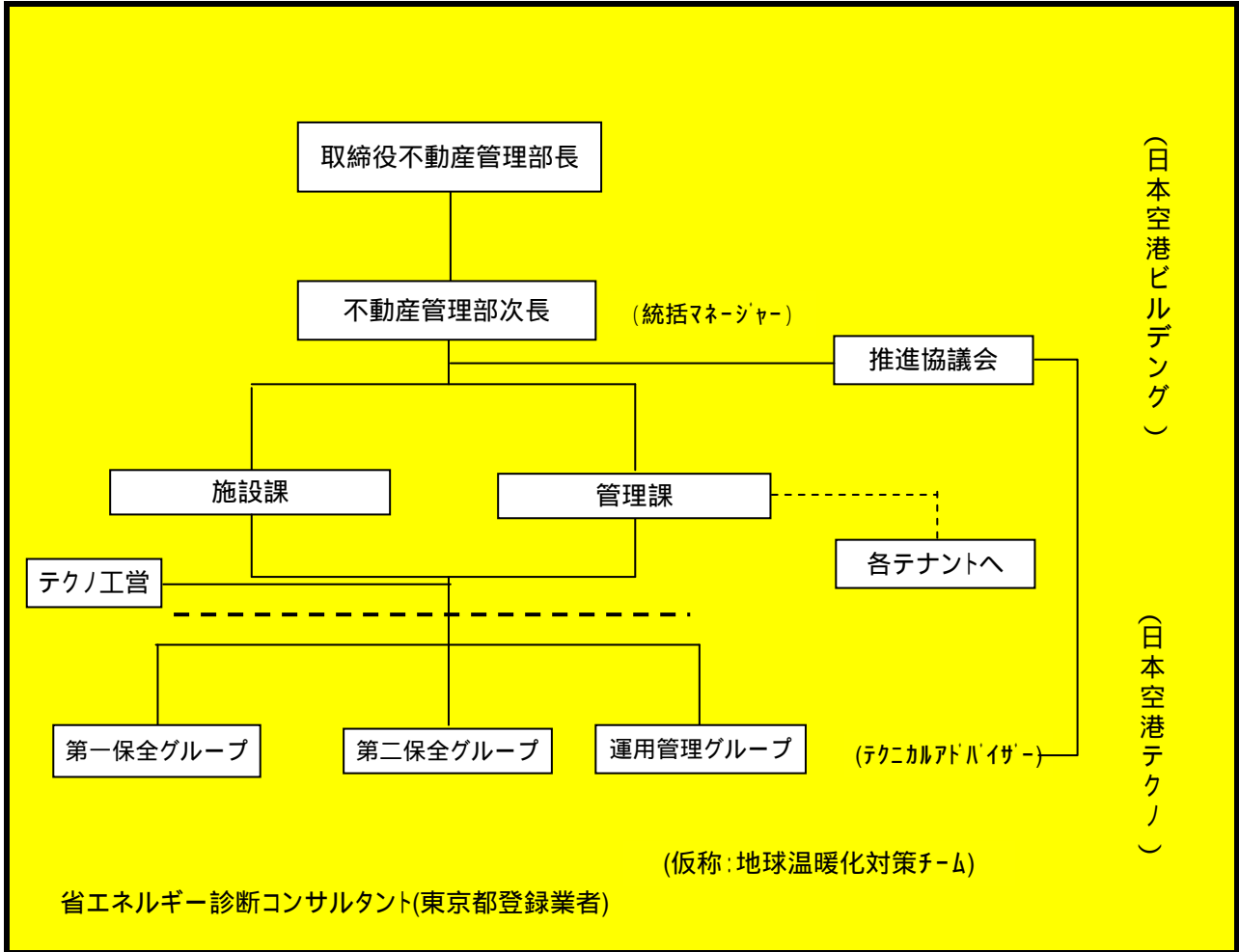
温室効果ガスの総排出量の見込み	74,170
-----------------	--------

(見込みの考え方等)

その3

5 地球温暖化の対策の推進体制

(1) 推進体制



(2) 事業所における地球温暖化の対策の普及啓発・教育活動

- ・ 定期的にエネルギーレポートを作成し、現在、取り組んでいる省エネ対策の現状とその結果を広く開示する。
- ・ 館内共用スペースへの省エネコマercialの提示
- ・ サービス車路（納品・業務用車両専用車路）でのアイドリングストップの徹底

その4

6 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況

(1) 基準排出量

ア 基準排出量の算定方法

<input type="radio"/> 過去3か年度(基準年度)の平均	
<input type="radio"/> 特定年度の値	( )年度
<input checked="" type="radio"/> その他	算定方法:( 別紙参照 )

イ 基準排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
基準排出量	77,958						77,958

(2) 建物の延べ面積当たりの基準排出量の状況(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たり基準排出量	167.5 kg/m <sup>2</sup> ・年
-----------------	----------------------------

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標

(1) 目標年度	計画期間の最終年度	21 年度
----------	-----------	-------

(2) 計画削減量(率)、目標削減量(率)等

分類	削減量	削減率
計画削減量及び計画削減率 (基本対策及び目標対策の実施によるもの)	4,237 t	5.4 %
うち目標削減量及び目標削減率 (目標対策の実施によるもの)	2,446 t	3.1 %
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減量及び削減率	807 t	1.0 %

その5

8 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の区分		対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	削減効果の見込み		根拠資料	対策レベル の修正	備考	
	区分 番号	区分名称			削減量 (t)	削減率 (%)				
1	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1旅客ターミナルのビル-系統空調機リック運転制御システムの導入	目標対策	323	0.41%	添付書類 A 1	<input type="checkbox"/>	平成15年中央監視装置更新に伴いリック対応可能による対応	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和設備の運転管理	第1,2旅客ターミナル空調機省エネルギーへの取替	基本対策	485	0.62%	添付書類 A 2	<input type="checkbox"/>		
3	<input checked="" type="checkbox"/>	130300: 換気設備の運転管理	第1,2旅客ターミナル換気ファン省エネルギーへの取替	基本対策	84	0.10%	添付書類 A 3	<input type="checkbox"/>		
4	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の管理	第1旅客ターミナル居室の安定器交換	基本対策	141	0.18%	添付書類 A 4	<input type="checkbox"/>		
5	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1旅客ターミナル外気導入量の削減	基本対策(運用)	159	0.20%	添付書類 A 5	<input type="checkbox"/>		
6	<input checked="" type="checkbox"/>	330207: 換気設備の運転管理	第1旅客ターミナル送排風機のフィルター交換	基本対策	25	0.03%	添付書類 A 6	<input type="checkbox"/>		
7	<input checked="" type="checkbox"/>	140200: 給排水設備の管理	第1旅客ターミナル排水処理施設の全面的更新	目標対策	514	0.65%	添付書類 A 7	<input type="checkbox"/>		
8	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の運用管理	第1旅客ターミナルの出発ビル-高効率型照明器具一式の更新	目標対策	160	0.20%	添付書類 A 8	<input type="checkbox"/>	ナリウム灯270W 220W 水銀灯400W 蛍光灯200W器具変更	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	140200: 給排水設備の管理	第2旅客ターミナルのトイレ節水制御システムの導入	目標対策	36	0.04%	添付書類 A 9	<input type="checkbox"/>		
10	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1,2旅客ターミナル空調機運転時間の見直し	基本対策(運用)	109	0.13%	添付書類 A 10	<input type="checkbox"/>		
11	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1,2旅客ターミナル温度の適正管理	基本対策(運用)	753	0.96%	添付書類 A 11	<input type="checkbox"/>		
12	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1旅客ターミナルの空調機サクションによる自動風量制御(南)システム導入	目標対策	74	0.09%	添付書類 A 12	<input type="checkbox"/>	北側は16年度実施済み	
13	<input checked="" type="checkbox"/>	140200: 給排水設備の管理	第1,2旅客ターミナル節水シャワーヘッドの取替	基本対策	3		添付書類 A 13	<input type="checkbox"/>		
14	<input checked="" type="checkbox"/>	130100: 空気調和の管理	第1,2旅客ターミナル空調機への可変風量制御システムの導入	目標対策	1,339	1.71%	添付書類 A 14	<input type="checkbox"/>		
15	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の管理	第1旅客ターミナル旅客用トイレ照明器具及び安定器交換	基本対策	32	0.04%	添付書類 A 15	<input type="checkbox"/>		
計画削減量(率)					4,237	5.4%	指針に掲げる「基本対策」を「目標対策」とした場合にチェックする。			
うち目標削減量(率)					2,446	3.1%				

その6

(2) 基準年度中に完了した目標対策に相当する対策

対策 No	対策の区分		対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	削減効果の実績		根拠資料	備考
	区分番号	区分名称		削減量 (t)	削減率 (%)		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	330201: 空気調和の管理	第1旅客ターミナルの空調機ファンによる自動風量制御(北側)システムの導入	74	0.09%	添付書類 B 1	平成16年度実施済み パゲージルーム空調機2台令温水弁開度により搬送動力量を低減
2	<input checked="" type="checkbox"/>	330201: 空気調和の管理	第1旅客ターミナルのビルシステム空調機サイクリック運転制御(12台)システムの導入	33	0.04%	添付書類 B 2	平成16年度実施済み 空調機各1台ごとに12分間1台ずつ順次停止させる
3	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の運用管理	第1旅客ターミナルのバブリックエリアに高性能反射板装置の導入	77	0.09%	添付書類 B 3	平成14年度実施済み 反射板 920台
4	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の運用管理	第1旅客ターミナルの2階カブサイト庇・昼光センサー設置及び運用時間見直し	35	0.04%	添付書類 B 4	平成15年度実施済み タイムスケジュールにて一部照明点灯時間短縮(6時間)及び昼光センサーにて点消灯
5	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の運用管理	第1旅客ターミナルの館内各所照明回路細分化システム及び蛍光管タミ管導入	163	0.20%	添付書類 B 5	平成15年度実施済み 照明回路変更による細分化・蛍光灯タミ管の導入
6	<input checked="" type="checkbox"/>	110300: 計測・記録の管理	第1旅客ターミナルの空調換気運転時間の細分化システムの導入	275	0.35%	添付書類 B 6	平成16年度実施済み ビル空調機 22台、給排気ファン 17台
7	<input checked="" type="checkbox"/>	140200: 給排水設備の管理	第1旅客ターミナル 小便器節水制御システムの導入	5		添付書類 B 7	平成16年度実施済み 小便器103台
8	<input checked="" type="checkbox"/>	150200: 照明設備の運用管理	第1旅客ターミナル 1階荷捌場高輝度照明器具一式の更新	146	0.18%	添付書類 B 8	平成16年度実施済み 高輝度型器具に交換(350台)
9	<input type="checkbox"/>					添付書類	
10	<input type="checkbox"/>					添付書類	
11	<input type="checkbox"/>					添付書類	
12	<input type="checkbox"/>					添付書類	
13	<input type="checkbox"/>					添付書類	
14	<input type="checkbox"/>					添付書類	
15	<input type="checkbox"/>					添付書類	
合計				807	1.0%		

(3) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

現時点で具体的な導入計画はありません。

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績  
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

9 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要		
テナント事業者等への還元のための措置			
廃棄物の削減	中水処理施設の更新(土壌菌)による 汚泥(産廃)の減少 厨芥の再資源化(飼料化)	削減予定量	468 未定 t
グリーン調達	グループ会社を含め、事務用品についてはグリーン購入法商品を購入するよう努める。		
物流の効率化			
その他、社員の通勤における削減対策等			

その8

10 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況等

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの基準排出量

ア 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去3か年度(基準年度)の平均値	( )年度 算定方法:( )
<input type="radio"/> 特定年度の値	
<input type="radio"/> その他	

イ 基準排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
基準排出量	449				/	/	449

(2) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標及び措置

ア 目標年度

計画期間の最終年度	21 年度
-----------	-------

イ 自動車等に係る削減目標

特定の車両（役員車）以外の業務車両については、更新時に低燃費車、低公害自動車へのリプレースを行う。また、外部委託している運送部門子会社においては、昨年度、所得した「グリーン経営認証」における認証基準及び経営推進チェックリストによる環境保全対策に取り組む

ウ 自動車等に係る削減対策

対策No	対策の区分		対策の名称	対策導入率等		削減効果の見込量(t)	備考
	区分番号	区分名称		現状	目標		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	701021 低公害車の導入	車両更新時における低公害車への切替	2.60%	26.70%		H16.11月ハイブリット1台導入済み
2	<input checked="" type="checkbox"/>	701043 省エネ運転、燃費改善の工夫	Eドライブの徹底				燃費3%UP(運送子会社)
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						

エ その他

その9

11 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

事項		取組概要			
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減見込量		t - CO <sub>2</sub>
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策				
	植林、緑化等		導入予定量		m <sup>2</sup>
	その他				
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減見込量		t - CO <sub>2</sub>
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策				
	植林、緑化等		導入予定量		m <sup>2</sup>
	その他				
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等					

12 事業所内で計画期間前に完了した温室効果ガスの排出の抑制に係る措置(8(2)以外のもの)

--	--	--	--	--	--

その10

13 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況

ア 工場・事業場の設備等に係る削減対策

「基本対策」をすべて計画化

「目標対策」を計画化

イ その他の削減対策

「自動車等に係る削減対策」を計画化

「事業所内で実施するその他の削減対策」を計画化

「事業所外で実施する削減対策」を計画化

(2) 地球温暖化対策計画書の内容に関する説明

基準排出量算出根拠

第1 旅客ターミナルビル

平成16年12月～平成17年3月までは実績、

平成14,15,16年度同月実績を平均して平成17年度との比を各年度同月に掛けて算出

第2 旅客ターミナルビル

平成16年12月～平成17年11月までは実績、

実績分を平成14,15,16年度として使用基準排出量算出根拠